

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)

【公表番号】特表 2004-504409 (P2004-504409A)

【公表日】平成 16 年 2 月 12 日 (2004.2.12)

【年通号数】公開・登録公報 2004-006

【出願番号】特願 2002-514243 (P2002-514243)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/70 (2006.01)

A 6 1 F 13/02 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 133/02 (2006.01)

C 0 9 J 133/08 (2006.01)

C 0 9 J 133/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/70 4 0 1

A 6 1 F 13/02 3 1 0 J

A 6 1 K 47/32

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 133/02

C 0 9 J 133/08

C 0 9 J 133/14

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 27 日 (2006.12.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

「酸性薬学的活性物質」の用語は、それらの分子構造中に、ルイス酸として化学的に反応することができる少なくとも 1 個の基を有する医薬活性物質を意味するものと理解する。好ましくは、このような基は、酸性カルボニル官能性基を有する。例には、カルボン酸類、アセチルサリチル酸、デヒドロコリン酸、ケトプロフェン (ketoprofene)、ロバスタチン (lovastatine) およびフルオロビプロフェン (fluorobiprofene) がある。

しかしながら、酸性または塩基性活性物質とは別に、経皮投与に適する別種の活性物質を、本発明による医療用感圧接着剤に配合し、経皮治療系用の活性物質マトリックスを生成することができる。